

3L International Summer School
on Language Documentation and Description
School of Oriental and African Studies, London / 22 June - 3 July 2009

本報告は、6月から7月にかけてロンドンで開催された「言語ドキュメンテーション」に関する夏期講座の報告である。

■ 概要

- 日程：2009年6月22日～7月3日の2週間
- 会場：ロンドン大学 SOAS (東洋アフリカ研究学院)
- リヨン大学、ライデン大学と共催 (3L : London, Lyon, Leiden)
- 主宰は SOAS のピーター・オースティン教授

■ 「言語ドキュメンテーション」とは

記録されていない言語をフィールドワークを行って包括的に記録し、言語研究や言語再活性化活動などにおいて利用できるように、一次データをアーカイブ化する言語学の分野



■ 参加者

- 42 カ国から 93 名 (うち日本人は 4 名)
- 大学院博士課程の学生が中心。アフリカや中南米、アジアなど、世界のさまざまな地域をフィールドに、これからフィールドワークを行うという人から、フィールドワークを終えて博士論文を書きおえた人、さらに大学の教員までさまざまな立場の人が参加していた。それぞれの専門は言語学の他、文化人類学、archiving など。その他、SIL の職員も参加していた。

■ プログラム

- 午前中：大教室での概論*1 と tutorial (概論について少人数で質問やディスカッション)
- 午後：選択授業*2
- ワークショップ (video, audio, software tools, 研究助成金の申請)
- その他、シンポジウム (テーマは「言語危機の社会言語学」、学生の研究発表、映画など)

*1 概論

- ドキュメンテーションの方法
研究の倫理、データの収集方法、データのアーカイブ化
- ドキュメンテーションと言語理論、類型論
- 危機言語の言語政策
- 手話のドキュメンテーション

この夏期講座で印象的だったことの一つに手話がある。耳の聞こえない学生が多く参加しており、すべての講義やワークショップは、ASL (American Sign Language) と BSL (British Sign Language) で通訳されていた。世界には自然発生的に生まれた多様な手話があり、危機に瀕している手話も多いという。危機言語のドキュメンテーションには、手話のドキュメンテーションも含まれる。

*2 選択授業

アマゾンやコーカサスなど、ある特定の地域の諸言語にフォーカスした授業、手話のドキュメンテーション、文法や語彙の記述に関する授業などがあり、参加者の関心に合うものを選択する。私が選択したのは、以下の3つである。

- 言語危機の社会言語学
- データとアーカイブ化
- Documenting Special vocabulary



■ その他

主宰のピーター・オースティン教授の“言語学者よ、耳だけでなく、目を開け！”ということばがとても印象に残った。手話のドキュメンテーションに関する講義でのコメントだったが、言語のドキュメンテーションには言語的なデータだけでなく、ことばが使われる状況、社会・文化的背景など、様々な情報に目を向ける必要がある、という意味も含んでいたのではないだろうか。

■ 夏期講座を終えて

今回の参加の目的としては、自分自身の研究の方向性を探るということと、研究の成果をどのように当事者のコミュニティに還元できるのか、さらに市民に伝えていけるのかということ、つまりどのようなデータを収集し、どのように保存、活用するのか、ということについて学び、考えるという目的があった。

今後は、フィールドワークで収集することになる人びとの言語使用や言語意識などの社会言語学的データを分析に用いるのみでなく、コミュニティや社会に還元できる、活用され得るようなドキュメンテーションを行うことも目指したいと考えている。その中で、今回の夏期講座で学んだ知識や考え方が生きるはずである。

2週間、共通した関心を持つ様々なバックグラウンドを持った人たちとともに学び、話し、過ごしたことは何よりとても貴重な経験になった。今後もこのような機会があれば積極的に参加したいと思う。

■ 2010年度の夏期講座

オランダのライデン大学にて開催

■ 関連 URL

夏期講座のウェブサイト：<http://www.hrelp.org/events/3L/index.html>

The Hans Rausing Endangered Languages Project (SOAS の危機言語プロジェクト)：

<http://www.hrelp.org/>